



▲たくさんの竹灯ろうが並ぶお寺の境内

幻想的な雰囲気にもまれて

御領石竹秋宵まつり

10月26・27日、「御領石竹秋宵まつり」が五和町の御領門前町商店街一帯で開催され、市内外から約5,200人が来場しました。

地域住民などが製作した竹や御領石、陶器の灯ろう約6,000個がお寺や家の庭などに飾られ、来場者は幻想的なろうそくのかかりに見入っていました。また、天草の歴史に詳しい上中満さんによる“万五郎どんの語りべ”のほか“秋宵蔵前コンサート”、“まっさき市”（物産市）なども行われました。

山頂からの眺望を堪能

みんなで登ろう！上津浦老岳ウォーク

有明町の老岳（591m）の山頂から見える美しい眺望を広く知ってもらおうと10月27日、上津浦地区振興会主催の「みんなで登ろう！第4回上津浦老岳ウォーク」が上津浦小学校跡地広場から山頂までを往復する約18kmと、片道約9kmのコースで開かれました。市内外からの参加者約130人は、真っ青な秋空のもと、コースの途中にまつられている“牛の神様”や“老嶽神社”に参拝をしながら、思いおもいのペースで歩いていました。

山頂では、雲仙普賢岳や天草の島々などの眺望を堪能し、ふるまわれた豚汁やおにぎりに舌鼓を打つなど、秋の1日を満喫していました。



▲山頂からの景色を眺める参加者

大きなシイタケを収穫

「しいたけファーム倉岳」でシイタケの収穫が最盛期

倉岳町浦にある市の指定管理施設「しいたけファーム倉岳」では、シイタケの収穫が最盛期を迎えています。同所では、約6,000本の原木で“肉丸”という品種を栽培。11月1日には、同施設の職員3人が大きく育ったシイタケを収穫していました。職員の高田浩康さんは、「なべ物やバター焼きなどに最適です。ぜひ、ご賞味ください」と話していました。なお同施設では、シイタケの駒打ちや収穫体験を実施しています。購入や体験の申込方法などの詳細は、しいたけファーム倉岳 ☎0964-3720へ。



▲シイタケの収穫をする同施設の職員

県内外の陶磁器が一堂に集結

天草大陶磁器展

11月1日から同5日まで、県下最大級の陶磁器展「天草大陶磁器展」が天草市民センター特設会場を主会場に開かれました。天草地域をはじめ県内外から76の窯元や陶芸家などの作品約20,000点が展示・販売されたほか、ろくろ・絵付け体験や“陶磁器の島AMAKUSA陶芸展”の応募作品の展示と表彰式が行われました（結果は下表参照）。

また、天草宝島国際交流会館ポルト周辺では、市内外の作家やアーティストが空き店舗などを使って作品の展示・個展などを開く「街中ギャラリー」も開催され、期間中は県内外から多くの人でにぎわいました。



▲ずらりと並んだ陶磁器を見る来場者



▲ろくろ体験をする子ども



▶街中ギャラリーのようす

陶磁器の島AMAKUSA陶芸展結果（敬称略）

- グランプリ…市之瀬章（鹿児島県南九州市）
- 準グランプリ…金澤宏紀（北原町）
- 日比野克彦賞…瀧脇克仁（鹿児島県霧島市）
- 小川哲男賞…岡部綾子（本渡町本戸馬場）
- 藤原恵洋賞・来場者賞…木ユウコ（上天草市大矢野町）
- 鶴田一郎賞…福岡祥浩（球磨郡錦町）
- 鯉江良二賞…市山富美子（五和町手野）



▲グランプリ作品（武装花器）